

総合戦略進捗状況評価シート

基本目標1. 変化しつづける温泉観光地を目指す

施策名	重要業績評価指標 (KPI)	前期計画	当初値	目標値	実績値【R3】	令和3年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
(1) 地域ブランド調査における魅力度ランキング 10位以内 (2020年 11位)								
観光客数の増加	宿泊客数	○	309万人	325万人	170万人	観光ブランドプロモーションほか	コロナ禍における、新しい旅のスタイルに適應した誘客施策の促進	観光経済課
インバウンドの対応	外国人観光客数		34,950人	70,000人	207人	Wi-Fi環境整備、飲食店トイレ洋式化、キャッシュレス決済推進事業、多言語音声翻訳機器導入促進事業	アフターコロナに向けた、海外プロモーションの推進 (TSJ及び美伊豆との連携によるプロモーション、ファミ受入)	観光経済課

基本目標2. 稼ぐ力を高めることで若者の安定した雇用を創出する

施策名	重要業績評価指標 (KPI)	前期計画	当初値	目標値	実績値【R3】	令和3年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
(1) 市内従業者数 (事業所単位) 20,000人 (2016年 19,637人)								
労働力の確保	事業承継 (相談) 支援数 (累計)	○	0件	10件	0件	事業者相談においてチーフアドバイザーが不在になったことが要因の一つと考えられるが、熱海チャレンジ応援センターを通しての事業承継相談がなかった。	中小企業事業者支援業務においてきめ細やかな	観光経済課
創業支援	熱海市チャレンジ応援センターの伴走型支援による創業及び新分野進出数	○	9件	10件	8件	伴走型支援による令和3年度創業実績6件、新産業創出実績2件。	中小企業事業者支援業務において新体制を組むなかでプッシュ型で成果増加を目指す。	観光経済課

基本目標3. 新しい人の流れをつくる

施策名	重要業績評価指標 (KPI)	前期計画	当初値	目標値	実績値【R3】	令和3年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
(1) 39歳以下の社会減を50%削減 (2019年 173人)								
新たな働き方の創出	サテライトオフィスの設置企業数 (累計)		0件	5件	0件	サテライトオフィス等の補助金事業があったものの、サテライトオフィス枠による申請がなかった。	中小企業事業者支援業務において新体制を組むなかでプッシュ型で設置増加を目指す。	観光経済課
滞在人口の増加	RESAS地域経済分析システム 滞在人口率 (平日 14時)		1.35倍 (年平均)	1.40倍 (年平均)	1.31倍 (年平均)	観光ブランドプロモーションほか	コロナ禍における、新しい旅のスタイルに適應した誘客施策の促進	企画財政課 観光経済課
ふるさと納税の寄附者数の増加	ふるさと納税の寄附者数		1,707人	2,000人以上 (毎年)	18,672人	新たな返礼品の追加などの寄附者増加の取組みを行った。大幅に寄附者数が増加した要因は、令和3年伊豆山土石流災害への支援に係る寄附が増加したことである。	魅力的な返礼品の追加に加え、ふるさと納税ポータルサイトの新規開設などにより寄附者増を図っていく。	企画財政課

基本目標4. 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

施策名	重要業績評価指標 (KPI)	前期計画	当初値	目標値	実績値【R3】	令和3年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
(1) 合計特殊出生率 1.22 ⇒ 1.35								
産み育てやすい子育て環境の充実	子育てを楽しんでいる方の割合		71.5%	75%	次回調査は令和5年度実施のため測定不能	地域子育て支援拠点事業として、親子ふれあいサロンを1箇所、子育て支援センターを2箇所設置し、親子が交流するための事業を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止や規模等を縮小して開催した。	引き続き、地域子育て支援拠点事業を実施し、子育て世帯を支援する事業を実施する。	社会福祉課
就労支援	保育園及び放課後健全育成事業の待機児童0人の継続		0人	0人	0人	保育士確保に努めたうえで、入所希望に即した適正な職員配置を行った。	引き続き適正な職員配置に努める。	学校教育課

基本目標5. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

施策名	重要業績評価指標 (KPI)	前期計画	当初値	目標値	実績値【R3】	令和3年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
(1) 生活全般の満足度 50.0% (2019年度 43.7%)								
安全・安心のまちづくり	地域での人との関わりについて「満足」、「やや満足」と答えた方の割合		40.9%	50%	52%	市民安全大会や同報無線による防犯広報等を通して、特に件数の多い特殊詐欺に対する注意喚起を行った。また、高齢者を対象に婉曲的に免許返納を促すチラシを交通安全指導員と協力して配布した。	市民安全大会でののぼり旗の掲示や啓発品の配布に努め、市民の特殊詐欺に対する防犯意識の向上を図る。また、交通安全運動等において、高齢者の交通事故防止を呼びかける一環として免許返納についても呼びかける。	危機管理課
住みやすさの追求	公共施設の充足度（施設の数、種類、利用のしやすさ等）における「満足」、「やや満足」と答えた方の割合		20%	30%	市民アンケートため未実施のため実績値なし	公共施設個別施設アクションプラン（第Ⅰ期）に沿った施設改修	公共施設個別施設アクションプラン（第Ⅰ期）の検証を踏まえたアクションプラン（第Ⅱ期）の策定、及び公共施設等総合管理計画の改訂	総務課
健康で生きがいのある暮らしの確保	お達者度の向上	○	男性17.54 女性20.96	男性17.69 女性21.03	男性17.93 女性21.20	各地域サロンの担当者と協力し、サロンの継続支援を行った。 総合事業通所サービスBを新設するなど多様なサービスの創設をおこなった。 就労支援（相談会）を新規で行い、個別相談会による生きがい支援に繋がった。 健康チャレンジによる健康管理や生きがいづくりを行った。	各団体向けに出前講座の充実を行い、引き続き高齢者の生きがいの創出に努める。生きがいに繋げるための就労支援として、個別相談会の他就業支援セミナーを開催していく。 訪問型サービスDの新設を目指す。	長寿介護課